

## 奈良町の保全と再生

### ～市民の手による持続可能なまちづくり～

(社) 奈良まちづくりセンター 理事長 <sup>むら</sup>室 雅博

#### 0. 奈良町の概要

- ・ 和銅3年(710年)に飛鳥・藤原京から遷都一平城京東側の外京に神社仏閣も移転。
- ・ 784年長岡京・794年平安京への遷都の際、神社仏閣は残されて外京を中心に宗教都市として栄え、「南都」と呼ばれる。
- ・ その後は商工都市、観光都市として栄えたが、戦後の高度成長末期に取り残される形で衰退しつつあった。
- ・ とりわけ伝統的町家と町並みを残す元興寺界隈を分断する都市計画道路の築造問題が起きた

#### 1. 地域づくり方針・目的

- ・ 元興寺界隈を中心に歴史的町並みの保全・再生と活性化を図る
- ・ それらを通じて奈良のまちを持続可能で、住みやすく、活力のあるものとしていく

#### 2. 取組み内容

- ・ 道路問題で元興寺界隈が更に劣化することを憂えた14人の若者が1979年に奈良地域社会研究会を立ち上げた(5年後に社団法人化)
- ・ まず界隈の約60%を奈良女子大の学生の協力を得ながら調査し、その成果を地元に戻元するとともに行政に政策提言をした
- ・ その後も関連する調査活動や、地元の人々がまちの歴史と暮らしを思い起こす活動を積み重ねた

#### 3. 苦労点・達成度

- ・ 奈良は保守的なまちであり、若者達の活動に地元の理解がなかなか得られなかった。市行政も当初は反対運動と見ていた
- ・ いずれは分かってもらえると思い、地道に活動を続けた

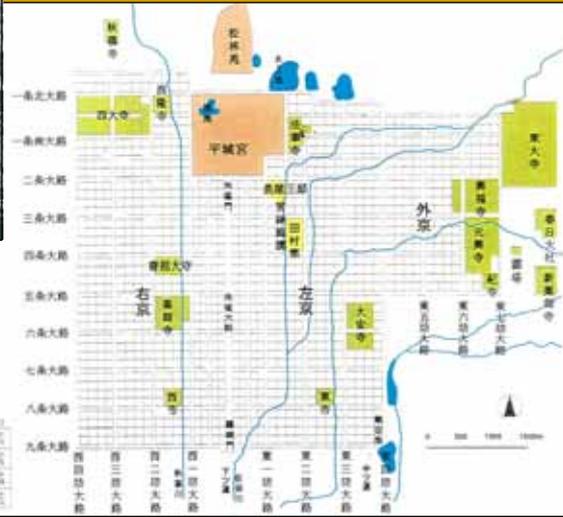
#### 4. 効果、反響等

- ・ やがて市行政の理解が得られ、行政投資が始まるとともに「奈良町都市景観形成地区」指定がなされた
- ・ かつての賑わいを取り戻し、地元の人にも「自分達のまち」の思いが甦った奈良まちづくりセンターの活動から新たなNPOも生まれた
- ・ 当然だが、地元の方は奈良まちづくりセンターによる成果とは感じていない

#### 5. 今後の課題等

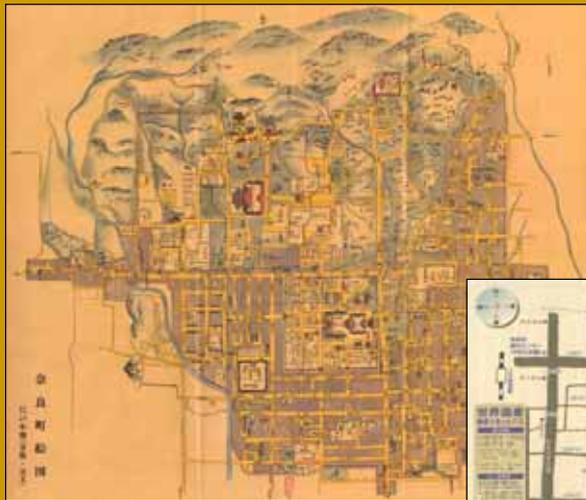
- ・ 「奈良町」がブランド化し、「生活があつての奈良町」の深みと味わいがあり、安らぎの得られる空間に不似合いな出店が増えている
- ・ 伝統的町家も次々と壊されていっている
- ・ 高齢化、交通、環境など個別課題も多いが、改めて今後のまちづくりのあり方を再検討する時期にある

## 1. かつての平城京の全容



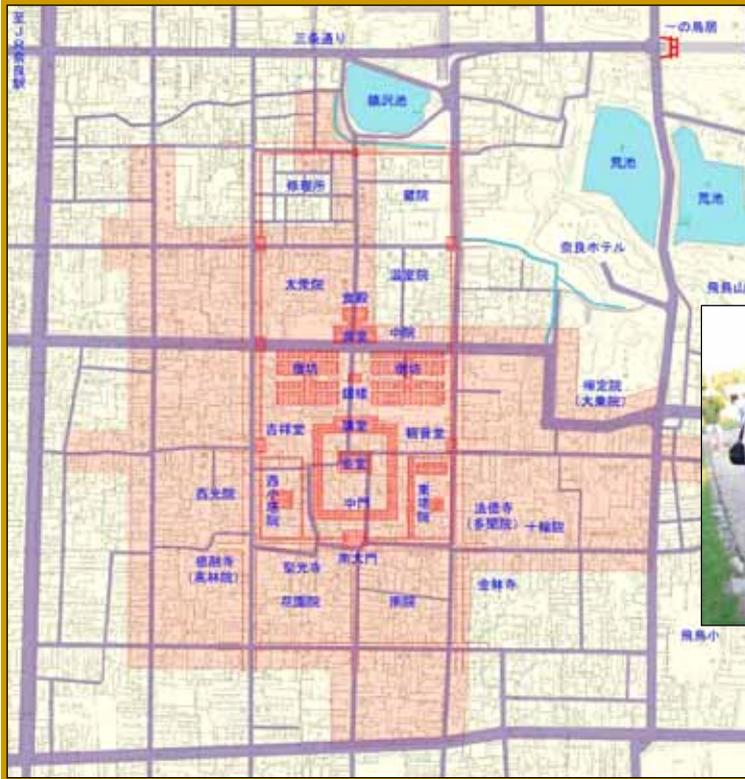
- ・和銅3年(710年)に飛鳥・藤原京から遷都
- ・その際、平城京東側の外京に神社仏閣も移転
- ・平安遷都後も、神社仏閣は残され「南都」と呼ばれ栄える。

## 2. 江戸時代の奈良町絵図と現在の「ならまち散策マップ」



- ・江戸中期の奈良町地図。
- ・17世紀末頃には205町約6,000戸、人口35,000人の記録も

### 3. かつての元興寺の境内と都市景観形成地区



現在の元興寺



・かつての元興寺の境内と、  
1994年の「奈良町都市景観  
形成地区」指定の区域

### 4. 中新屋町の通り



・中新屋町の通りと、毎年8月の  
「なら燈花会」にあわせて中新屋  
町の「灯りの小径」。

## 5. 奈良町物語館の改修風景



改修前の様子



地域の子供達による作業



元興寺の金堂礎石が現れる



町屋の骨組み

## 6. 奈良町物語館での活動風景①



展示会風景



ファサードとペロタクシー



ある大学の学生発表会



ロングイベントの打ち上げ風景

### 7. 奈良町物語館での活動風景②

こんなイベントも!



カクテルバー  
各ホテルのバーテンダー  
による毎8月の一夜バー  
(自治会主催)



「楽生座」のこども向けイベント  
- スイカで灯りづくり -

### 8. 2004年秋のイベント「賑・ならまち25」風景



シンポジウムの開催



フィナーレ・セレモニー



スタッフとのワンショット



チェンマイ等のゲストによる  
まちづくり国際交流分科会

## 9. タイ・チェンマイのまちづくり団体(UDIF)との交流



チェンマイの事務所訪問



チェンマイの風景



築100年以上のショップハウス



チェンマイのゲストとの交流会

## 10. 「安全・安心・快適な町家暮らし」調査活動

パブリック・アンド・コミュニティ・参加事業

**安全・安心・快適な町家暮らし**

奈良町の安全・安心・快適な住まいとまちづくりの提案  
—中継町プロジェクト—

奈良町の安全・安心・快適な住まいとまちづくり研究会  
中継町自治会、社団法人 奈良まちづくりセンター

奈良町の安全・安心・快適な住まいとまちづくり提案

＜目的と期待できる効果＞

- 防災、防犯時の対応策、避難計画
- 緊急時の駆けつけシステム、避難の準備
- 夜間防犯にもなる町家の照明、暮らしにくい対策
- 高齢者に寄りかかるときの対応の見える化
- 伝統的町家の、町家の防災システム
- 町家として住み続ける町家、町のシステム
- 地域コミュニティの再構築とまちづくりとしての新しい展開
- 町家まちづくりの新たな存在意義
- 町家の社会貢献の役割
- 行政によるバックアップ
- 専門家による研究、支援システム
- 行政への提案、他の地域への参考事例

奈良町の町家地区を調査してのコミュニティ

あらゆる意見をワークショップにより整理

奈良町の安全・安心・快適な住まいとまちづくり研究会